

令和4年度 学評評価のまとめ

壬生町立稲葉小学校

<特に良好な項目>

【学校運営】

- 児童が、楽しく学校生活を送っていると感じている教育活動が、協力的、計画的に実践されている。
- 児童の課題や問題に対して、教職員が実情や指導方針を迅速に共通理解し、組織的に対応することができている。
- 支援員や非常勤職員、ALTなど相互の協力・協働に努め、効果的な連携が行われている。
- 多様な異年齢集団活動など、特色ある学校づくりに努めている。
- 地域・学校との協働活動が充実している。
- 各種たよりやHPを通して、学校の様子が発信されている。

【学習指導】

- 児童にとって、わかりやすい授業が進められている。
- 児童は、学習のきまりを守って、学習に真剣に取り組んでいる。
- 児童は、授業中先生や友達の話をしっかり聞いている。
- 複数指導体制を生かして、個に応じた配慮や支援が行われている。○言語活動（話し合いや発表、考えをまとめる、学びの振り返りなど）が、意図的に位置づけられている。
- 授業研究会や、日常的な実践が積極的に行われている。

【生活・保健・安全指導】

- 児童は、友だちと助けあい、いじめが起きないように気を付けて生活している。
- 児童は、あいさつや返事、言葉遣いに気を付けて生活し、ルールやきまりを守って集団生活を送っている。
- 児童は、そうじや係の仕事を一生けん命している。
- 児童は、給食を好き嫌いなく食べるようにしている。
- 児童は、進んで手洗いうがいをしている。
- 児童は、きまりを守って登下校をしている。
- 児童の生命、安全、健康を第一に考え、安全指導を組織的に行っている。
- 教職員は、日々の生活の中で、児童のよさや活躍を称賛して自己肯定感を高めるようにしている。
- 校内や教室の環境整備（清掃・美化・掲示物・動植物など）を、計画的に行っている。

<概ね良好ではあるが、より改善が望まれる項目>

【学習指導】

- 児童が、進んで挙手発言を行う方策を進めていく。
- 自主学習の指導を工夫し、家庭と連携しながら家庭学習の習慣化を図るようにしていく。